



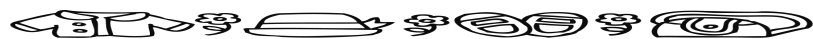
2月 ちびっこの森通信 vol.45

令和3年2月1日



☆☆今月のテーマ☆☆

- ・手洗い・うがいなど感染症予防の意識を持ち、健康に過ごす。
- ・冬の自然事象に興味・関心を持つ。



～今月の園内学習～

- ・足し算…9の段
- ・掛け算…9の段
- ・絵画カード…「シャユ踊り」など
- ・声に出して読みたい日本語…「付け足しことば」「山椒大夫」
- ・歴史カード…「小林 一茶」ほか
- ・国旗カード…アジア
- ・地理カード…九州地方



♪今月の歌♪

- ◇ゆきのぺんきやさん
- ◆北風小僧の寒太郎
- ◇まめまき
- ◆こぎつね

～発表会について～

今月、本来ならば開催予定なのですが…新型コロナ感染症の状況で開催環境が十分とは言えず、今月7日まで準緊急事態宣言下の状況ですので今月の開催は見合わせとし、状況を見て来月の開催の可否等をご案内させていただければと思います。皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

～行事予定～

- ・節分会…2日
- ・英語教室…3日
- ・書道教室…4、8、18、25日
- ・リミック…8日〔未満児〕9日〔以上児〕
- ・体操教室…5日〔2歳児/4・5歳児〕10日〔0・1歳児/3歳児〕
- ・避難訓練…22日
- ・身体測定…16日〔以上児〕17日〔未満児〕
- ・誕生日会…26日



0～1歳児だより



今年は、久々に厳寒の冬となりました。昔から”こどもは風の子”と言われるように、寒さに関係なく元気一杯です。先日、戸外遊びではチラチラと雪が舞い、こどもたちは大興奮。(多分)人生初の雪に多少の戸惑いはあるようでしたが、「ゆきだね～」とお互いに顔を見合わせ、怖いもの知らずに両手で雪をつかもうと盛り上がっていました。雪舞う公園内を走り回ったりと楽しい雪体験をしていました。最近、こどもたちの間では片言ながら会話を交わすような様子が見られるようになってきました。その一言、一言は何気ないものですが、時々その場にそぐわない、突拍子ない言葉のやり取りが周りの笑いを誘う日々となっています。それもこれも、日常生活のいろんな場面で見聞きしたことからでしょうから、今後ますます目が離せませんね。これからだんだん春めき、寒暖差による体調不良や花粉症をはじめとし現状の感染症対策同様に気を配り、元気に過ごしていけるようにしたいと思います。



2～3歳児だより



今月は暦の上では”立春”を迎えますが、気候的には今暫く”冬ごもり生活”が必要かもしれませんね!今年の年末年始は例年になく特別だったので、ゆっくりと家族団欒を過ごされたことでしょうか。その流れを引き継ぎ、園の”お正月遊び”では凧揚げや福笑いなどを年中&年長児との交流で手本を十二分に学び、楽しむことができました。その後、こどもたちから凧上げを楽しもうとのリクエストがあり、寒さをもろともせず元気に走り回り、凧揚げを満喫していました。久々のホワイトウィンターとなった今冬、園の駐車場の積雪に「わぁ～、ゆきだぁ～」と大喜びで、積もった雪に足を踏みしめ、その感触を楽しんだり、ミニ雪だるまづくりで盛り上がりました。年度末近くとなり、(開催形式は未定ですが…)発表会を視野した練習にも精を出しています。感染症の行方が気になりますが、引き続き感染症予防には万全をつくり、元気に過ごしていきたいと思っています。



4～5歳児だより



年末年始をゆっくりと過ごし、充実感たっぷりのこどもたちは、その土産話で大盛り上がりでした。園で恒例の”お正月遊び”で凧揚げ、福笑いやかるとなどのお正月の伝承遊びを楽しみました。年中&年長ともなると園の模範を示さないと、いう使命感みたいなものがあるようで”福笑い”では他の月齢児に対して手本を見せてくれたりとスムーズな遊びが出来て助かりました。それは、凧揚げの場所選定に当り、”ここがいんじゃない?”や”こっちのほうが沢山走れて、もっと上げれるんじゃない?”などと保育スタッフ顔負けの働きをしてくれていました。実際、凧が高く上って満足そうな顔で一杯でした。その後、こどもたちの自主性はいろんなところで発揮されようとしており頼もしい限りです。久々の雪景色の日には、手が真っ赤になるのもお構いなしに雪だるまづくりに没頭したり、所々凍った雪を見つけては足裏で感触を楽しんでいました。これから季節の移り替わりですが、元気に過ごしていけるように気をつけていきたいと思っています。



～豆まきde(邪鬼=病気)鬼退治～

今月3日は、二十四節気の一つ目の立春で、季節は春へ舵を切っていきますね。その前日(2日)は節分となり、こうなるのは124年ぶりとのこと。また、いつもの(節分の日が)3日でなくなるのは37年ぶりという記録づくめの節分を今年は迎えることになるそうです。さて、節分には伝統行事の”豆まき”が行われますね。“豆”で鬼(邪気:病気などを引き起こす悪い気)を追い払い、1年の健康を願うというのはご存知の通りです。また、豆を(数え年)年齢の数だけ食べると、健康でいられるという言い伝えもあります。他には、恵方巻という関西の風習が今や全国的規模になったものもありますね。今年の恵方角は”南南東”、目を閉じ無言で願いを思い浮かべながらその方角に向かい食べると願いが叶うというもの。この時季は、季節の変わり目で体調を崩しやすい時期だけに、こうした無病息災を願う行事が行われるようになったのでしょうか。ところで、豆まきの大豆は邪気を祓うだけでなく、実際”畑の肉”と呼ばれるくらい良質なたんぱく質を豊富に含んでいます。他にも、食物繊維、ビタミンB群、カルシウム、鉄を含む、非常に栄養価の高い食材です。さらに、体内で生成することのできない必須アミノ酸のリジンを含むことも見逃せません。こんなそんなで(邪気=)鬼退治用に大豆が選ばれたのにはそれなりに理由があったということになりますね。このリジンですが、主食の米には多くないことから、大豆そのものや加工食品の納豆や豆腐と一緒に食べると栄養バランスもよくなり、健康増進間違いなし、といったところですね。このような健康食品の大豆と共に巻の感染症を吹き飛ばし元気に春を迎えられるようにしていきたいです!